

No.4 ロールズの正義論 —— 公正としての正義を医療格差問題に応用する

導入

「医療は平等に受けられるべきか、それとも能力に応じて分配されるべきか」——この問いは現代医療の核心だ。ジョン・ロールズの正義論（「無知のヴェール」の思考実験・格差原理・公正としての正義）は、医療資源配分・健康格差・国民皆保険制度の正当性を論じる最強の哲学的ツールだ。この講座では、ロールズの正義論を医療格差・健康の社会的決定要因・UHC（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ）の問題に適用し、論述・面接で使える技術を習得する。

授業目標

- ロールズの「無知のヴェール」思考実験と格差原理の意味を正確に説明できる
- 国民皆保険制度・UHCの正当性をロールズの正義論で論証できる
- 健康格差（SDH）・医療アクセス格差の問題を正義論の枠組みで論じられる
- 「公正な医療とは何か」を哲学的根拠を使って600字論証できる

授業構成（90分）

時間	内容
0～15分	衝撃体験：「無知のヴェール」思考実験で「自分が社会弱者だったら」を体感
15～40分	ロールズの正義論（原初状態・無知のヴェール・格差原理・基本的自由）の詳解
40～65分	医療格差・UHC・国民皆保険への適用実習と600字論述の作成
65～90分	功利主義との比較：資源配分問題で「ロールズ vs ベンサム」を対比して論じる

課題

授業後：「日本の国民皆保険制度はロールズの正義論によってどう正当化できるか」を論述（600字）を作成・提出。

備考

医・薬学部対応。哲学・思想シリーズの集大成講座。No.1（功利主義・義務論）受講後に取り組むと対比の理解が深まる。医療格差・社会医学テーマと直結。